

カナダ・ブリティッシュコロンビア州の ピースリバー地域における農村空間の商品化

兼子 純 (愛媛大学・法文学部)
菊地俊夫 (首都大学東京・大学院都市環境科学研究科)
田林 明 (筑波大学・名誉教授)

要旨

これまでの研究では、カナダ・ブリティッシュコロンビア州の中でも温暖な自然条件を活かした特徴のある農業生産と観光の結びつきが検討され、カナダにあっても大都市の近郊に位置し、恵まれた自然条件を活かした農村空間の変容が明らかにされてきた。しかし、大消費地から遠隔に位置し、自然条件も厳しい地域はブリティッシュコロンビア州の多くの部分を占める。特にブリティッシュコロンビア州の中でも、高緯度地方はその気候条件から耕作期間が限定されるため多様な農業が展開されにくく、それをそのまま観光に活かす活動は起こりにくい。本報告はそうした地域の事例として、ブリティッシュコロンビア州のピースリバー地域 (PRRD) を対象に、その自然条件と人文条件を踏まえた上で、地域の農業と天然資源開発の特徴を明らかにするとともに、農村空間の観光化への取り組みとして、世界ジオパークとチェーンソーカービングの取り組み事例を紹介することで、当地における農村空間の商品化の特徴を明らかにした。

I はじめに

筆者らは、これまでカナダ・ブリティッシュコロンビア州における農村空間の商品化の特性について明らかにしてきた。すでに報告されたローワーメインランド (田林ほか, 2016, 仁平ほか, 2016) では大都市圏に近接した条件を活かしたファーマーズマーケットの展開, オカナガン (矢ヶ崎, 2016) やバンクーバー島 (菊地ほか, 2016; 兼子ほか, 2016) の事例では、カナダの中でも温暖な自然条件を活かした特徴のある農業生産と観光の結びつきが明らかにされた。上記のブリティッシュコロンビア州の事例は、カナダにあっても大都市の近郊に位置し、恵まれた自然条件を活かして農村空間を変容させていた。しかし、大消費地から遠隔に位置し、自然条件も厳しい地域はブリティッシュコロンビア州の多くの部分を占める。特にブリティッシュコロンビア州の中でも、高緯度地方はその気候条件から耕作期間が限定されるため多様な農業が展開されにくく、それをそのまま観光に活かす活動は起こりにくい。ブリティッシュコロンビア州における農業地域を類型化した図1によると、本研究で対象地域とするピースリバー地域は類型VIIに分類され、穀物および飼料用作物の栽培と大規模農業、機械化、借地農業によ

って特徴づけられる。広大な土地を有するものの、穀物栽培に限定される生産性の高いとは言えない農業地域では、どのように農村空間は商品化されるのであろうか。

本報告はそうした地域の事例として、ブリティッシュコロンビア州のピースリバー地域 (Peace River Regional District, 以下PRRD, 図2) を対象に、その農村空間の商品化の特徴を明らかにする。II章では、PRRDの自然条件と人文条件の概要を説明し、III章では地域の農業の特徴と天然資源開発について述べる。

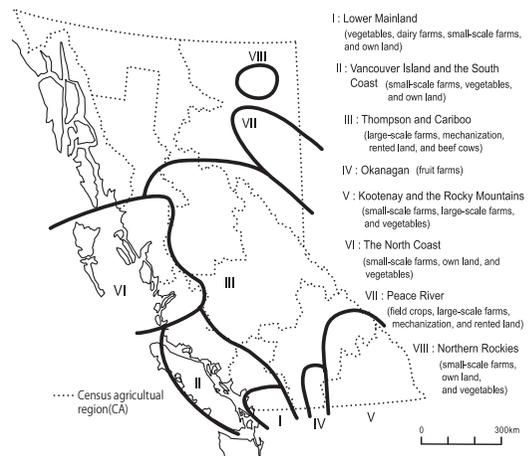


図1 ブリティッシュコロンビア州における農業地域の類型 (2011年) (仁平 (2018) より引用)